

2016年度「研究者の横顔」 明智 龍男先生

1. 助成研究の紹介

こどもががんに罹患すると、患者さんのみならずご家族もまた大きなストレスにさらされます。小児がん診断後のご家族の良好な適応は、患者さんの QOL にも影響するため、より早期からご家族への適切な支援が求められています。この研究は、心理社会的苦痛を抱える小児がん患者さんとご家族のための効果的なサポートやケアを開発するための研究です。

2. 昨年度からの研究の進捗状況

小児がん患者さんのご家族のなかでも、最も頻度が高く深刻な精神心理的苦痛を抱えるといわれている母親を対象に、抑うつや不安などの精神心理的苦痛の頻度とこれらの関連/予測要因を明らかにするための調査を開始しました。それと同時に、心理社会的問題を抱える患者さんとそのご家族を早期発見するためのスクリーニングツールを開発しています。今後は、これらの研究結果にもとづいた介入プログラムの開発を目指しています。

3. 全国の RFL 関係者に一言

この研究を通して、小児がん患者さんとご家族が、がんを抱えながらも、その人らしく、いきいきと過ごしていただけるための支援が発展していくことを願っています。